

持続的な成長を支える4つの強み

ジーテクトがこれからも持続的に成長を続けていくために、4つの強みが高いレベルでバランスよく備わっていることが欠かせません。この強みにさらに磨きをかけていくことで、成長を加速させるとともに、車体システムサプライヤー(Tier0.5)への道筋を確かなものにしていきます。

1 開発力

ジーテクトの開発力の基礎となっているのは、「車体一台解析技術」です。当社は、お客様である自動車OEMとともにクルマづくりをしていく中で、車体一台解析技術を手の内化する必要性をいち早く認識し、ノウハウを蓄積してきました。現在では、独自のパラメータ(変数)を用いることで実物の衝突試験と同等の精度で車体一台分の衝突解析を行うことが可能となりました。これに加え、個々の部品の解析を活用した車体全体の性能解析、サブフレームなどの足回り部品の耐久強度解析により車体一台分の開発提案を実現し、さらなる受注につなげます。

詳細については
P.18へ

知的資本の戦略

車体メーカーとしての知見と技術力を結集し、社会課題解決に貢献する新製品開発を推進

2 技術力

ジーテクトは、自動車OEMのパートナーとして車体製品の加工技術を培ってきました。それらの技術力の成果の一つが、バッテリーハウジングやセルケースなどの、新事業領域の製品です。これらの製品には、各部品の成型や接合など、技術力が活かされた様々な加工法が採用されています。これにより、クルマの要求性能に合わせた最適な加工法の選択肢を提案可能であると実証することができました。

また、これらの加工技術を量産工程に落とし込む生産技術もジーテクトの強みです。生産・検査の自動化によって、無人化だけでなく、個人差から生じるバラつきをなくすことによる品質向上を実現します。さらに、新工場では構内物流の自動化、DXを基礎とする体質変革を推し進め、生産を最適化します。将来的には現場データをAIが分析して生産を最適化するという、工場自体が知能を持った「究極のスマートファクトリー」を目指します。

製造資本の戦略

車体メーカーとして培った高度な量産技術とデータ利活用によるスマートファクトリー実現

詳細については
P.17、20へ

3 グローバル拠点

ジーテクトは12か国に28工場と研究開発5拠点を展開しています。生産拠点は、自動車OEMの生産工場のほど近くに設けることで高水準のQCDにつなげています。研究開発拠点は、重要市場である欧州・北米・中国に所在する拠点に、現地の最新トレンドや技術動向をリサーチするS&E (Sales & Engineering) 機能を持たせることによって、お客様のニーズに対してスピード感をもって対応できる体制となっています。

今後もスピードを増していく電動化の流れについていくために、引き続き拠点間の連携を深め、受注につなげていきます。

詳細については
P.22へ

社会関係資本の戦略

お客様と密に連携可能なグローバル体制で、市場のニーズをキャッチアップ

4 財務力

開発力、技術力、グローバル拠点の基礎となっているのは、盤石な財務力です。高いキャッシュ創出力によって成長投資のための原資を確保します。また、海外に偏在する資金を国内に還流させることによって、国内拠点のマザー機能強化につなげています。

当社はこれまでも堅実に成長を続けてきていますが、さらなる企業価値向上のため、次のような目標を掲げております。

自己資本比率
50%以上の維持

DOE3.0%
(2031年3月期)

配当性向30%以上
(2026年3月期以降継続)

詳細については
P.24へ

財務資本の戦略

盤石な財務力によって、利益成長をもたらす投資と安定的な株主還元を実現し企業価値を向上